

ウッディハウスとうわ

東和町森林センター

施設名 東和町森林センター
ウッディハウスとうわ
所在地 安達郡東和町木幡字東和台34 - 1
〒0243(46)8391
職員数 3人(男2・女1)
施設内容 木造二階建(冷暖房完備)
研修室・客室8・大広間・食堂
宿泊人員 50名
宿泊料金 大人6,700円から(3名様以上)
テニスコート・多目的グラウンド
(ナイター設備完備)・体育館等

施設の特徴

スポーツと文化、心ふれあう交歓の郷東和町は、おいしい空気と緑豊かな森林の香りが自慢です。木幡山に息づく数多くの文化財に埋もれ、鮮やかな五反幡が吹雪に舞う「木幡の幡祭り」、大きな人形が激しくもみあう「針道の暴れ山車」、東北のポストンマラソンと呼称される「東和ロードレース大会」など、いにしえより続く文化が漂う町でもあります。

ウッディハウスとうわは、阿武隈川の東岸に位置し、雄大な阿武隈川の流れに沿って、小高い山を登りつめた阿武隈高地の丘陵にあり、西方には安達太良連峰と吾妻山を望むことができます。山あいにあふれる自然が、四季折々に感動を与えてくれます。春は桜やツツジなどが競って花を開き、緑が濃くなると渡り鳥が訪れ、さまざまな小鳥たちの鳴き声が響きわたり、野鳥の楽園と化していきます。夏は、空が抜けるように高く、さわやかな風によって蝶が舞い、蝉が鳴き、阿武隈川の清流ではカヌーに興じる子供たちの歓声が聞かれます。

木の香り漂う木造作りのウッディハウスとうわは、林業技術の向上を図るため、技術研究・開発の推進に従事する林業労働者の福祉施設として、平成5年10月にオープンした宿泊、研修・保養施設です。

「友よ、ほんとうの空に とべ！」をスローガンに開催された第50回国民体育大会「ふくしま国体」では、カヌー競技の会場となり、秋篠宮殿下同妃殿下を迎え、全国から集まった選手・監督・役員との友情の輪を広げ、数多くの思い出と数々の感動のドラマを残し大会の幕を閉じた所でもあります。地域住民にとっては、町民総参加による大イベントであり、英知と創造力・情熱の結集でもありました。大会の成功は、今でも語り継がれ、スポーツ文化の振興と健康の増進、活力ある郷土づくりに大きく寄与してお

ります。

レジャー、研修、スポーツ合宿などに利用できる宿泊施設のほかに、公認カヌーコース、ナイター設備を備えたグラウンドや人工芝のテニスコート、体育館、ログハウス、ちびっこ広場などスポーツ施設も整備され、使用目的を問わず、コミュニティ施設としても定着しております。木の優しい香りと温もりのなかで、心尽くしの食事をゆっくりと味わう。手作りの温もりが、素朴な人情と共に旅のロマンをかきたてます。

また、阿武隈川上流の島山は、川に突き出た岩床で奇岩奇石が多く、珍しい風穴岩が散在し、稚児桜の群生地として特に有名で、対岸には稚児舞台、白絹の滝、千畳巖なども見ることができ、四季それぞれに憩いを求め、町内外からの利用客で賑わっています。

観光キャンペーンの推進策として、大自然と戯れ、みんな元気を取りもどそう！をキャッチフレーズに「東和町地球元気村」の開村、ふるさと体験旅行ツアー「ふくしま遊学」を開校しております。

ふくしま遊学は見物旅行、レジャー旅行といった従来型の観光旅行に、地域を舞台に地域が主役となった体験学習をいろいろと取り入れ、知的満足感をサービスの原点にしております。

太陽がキラキラと照りつける阿武隈川でのカヌー体験、川のせせらぎと小鳥のさえずりを聞きながら森林での虫採集、農作物の収穫体験など、家族が一体となったレジャーを優先しております。

人と自然の調和の中で、野外で土をいじり、岩を転がし、水を汲み上げ、いろいろな物を観察しながら、日々の暮らしの在り方を体を通して感じてもらい、考える場を持つことに重点をおいた、長期滞在型の観光を試み、ゆとりのある休暇を過ごす、新しい旅の企画立案に挑戦しております。

